

No.	事業名	事業内容	事業期間	総事業費 (円)	内臨交金 (円)	事業実績概要	事業効果	判定 ※1	分類 ※2	担当課
1	税務オンラインシステム導入事業	コロナ禍における税務関連業務の接触機会を減少させるため、税務オンラインシステムを導入した。	R3.6～ R4.3	3,058,000	3,058,000	①登記情報システム導入業務委託料 2,728千円 ②確定申告国税データ連携システム導入 330千円	①②オンラインシステム導入により、法務局や税務署職員との接触機会を減少させ感染防止対策を強化することができた。  【指標：担当部署や確定申告会場のクラスター発生による閉鎖件数0件】	○	④	税務課 0952-37-6103
2	防災活動支援事業	避難所の衛生環境を保つため、消毒薬等の資材を避難所に備蓄した。	R3.5～ R3.11	1,781,344	1,781,000	①感染対策関連消耗品等の拡充 ・消毒用アルコール、フェイスシールド、エプロン、簡易マット等消耗品951千円 ・避難所用感染対策備品搬送機材830千円	①避難所運営について、避難者が滞在する避難所の衛生環境を確保しながら運営することが出来た。  【避難所での避難者の感染報告0件：令和3年度中の延べ避難者数 250人】	○	④	防災対策課 0952-37-6119
3	テレワーク推進事業	統合型GISシステムの情報を更新し、在宅勤務のリモートワーク等を実施することにより、非接触を強く推進することができた。	R3.6～ R4.3	32,857,000	32,857,000	①共用空間基盤地図整備事業業務委託費 29,260千円 ②公共施設管理システム導入業務委託費 3,597千円	①②最新の基盤地図を電子化し、市公共施設、ハザードマップ、市道路線図、下水道マップ等各種情報をいつでも閲覧できるように「おぎまっぷ」として公開し、市民等が情報得る手段を整えたことで来庁機会を軽減し、感染リスクを低減させることができた。また、リモートワーク等で実施できる業務を拡大させた。  【指標：市役所窓口業務に起因するクラスター発生件数 0件、一般行政職の内、テレワークを行ったことのある職員の率10%】	○	①	財政課 0952-37-6117 建設課 0952-37-6120

No.	事業名	事業内容	事業期間	総事業費(円)	内臨交金(円)	事業実績概要	事業効果	判定※1	分類※2	担当課
4	学生応援小城ふるさと元気便事業	親元を離れた学生が、地元に戻れない状況が続いているため、当該学生に対し地元産品の食品等を送ることで応援した。	R3.6～ R3.9	921,693	921,000	①小城市出身で県外で生活する学生等への地元特産品の送付 対象者187人×4,928円	①小城市を離れた学生等に対し、特産品を送付し生活を支援することができた。特産品を送付した学生等からは「懐かしい品々に心が温かい気持ちになった」「小城市の皆様の温かさを感じ勇気づけられました」などの感謝の手紙やメール等が多数届き、生活支援だけでなくシビックプライドの醸成にも繋げることができた。  【指標：支援申請のあった県外在住者（187人）へ物資を送付できた割合100%】	○	①	総合戦略課 0952-37-6110
5	自治会活動支援事業	感染拡大に伴い自粛等により、活動の継続が困難になっている自治会を支援し、安心・安全に活動の継続につなげた。	R3.6～ R3.11	14,063,206	14,063,000	①自治会（行政区）の活動継続のための感染防止対策に対する経費補助 139地区 14,064千円	①コロナ禍において活動を継続している各自治会（行政区）を支援するため、感染防止対策として必要な消耗品や備品の購入補助及び公民館の軽微な改修に対し費用を補助したことで、安全安心な自治会活動が実施された。  【指標：各自治会活動でのクラスター発生報告件数0件】	○	①	総務課 0952-37-6112
6	事業継続応援給付金事業	コロナ禍により売り上げが減少した店舗の事業継続を支援した。	R3.6～ R4.1	39,443,724	39,443,000	①事業継続応援給付金の給付 ・給付件数：個人354件、法人111件 ・給付額：個人28,320千円、法人11,100千円 ・通信運搬費：24千円	①売り上げが減少した市内業者に対し、法人10万円、個人事業者8万円の給付金を給付した結果、セーフティネットの申請企業が減少し、中小事業者等への事業継続支援に効果があった。  【指標：補助を受けた業者のR3年度中セーフティネットの申請件数1件】	○	②	商工観光課 0952-37-6129

No.	事業名	事業内容	事業期間	総事業費(円)	内臨交金(円)	事業実績概要	事業効果	判定※1	分類※2	担当課
7	農林水産業事業継続応援給付金事業	コロナ禍により売り上げが減少した農林水産業者の事業継続を支援した。	R3.5～ R3.9	5,966,972	5,966,000	①農林水産業事業継続応援給付金の給付 給付件数：個人72件、法人2件 給付額：個人5,760千円、法人200千円 通信運搬費：6千円	①令和3年1月から3月までのいずれかの月の事業収入が前々年同月比で20%以上減少した農林水産業者へ給付した結果、令和3年度中に事業廃業をした農林水産業者は0件であり、農林水産業者への事業継続支援に効果があった。  【指標：令和3年度中に廃業した農林水産業者0件】	○	②	農林水産課 0952-37-6125
8	幼児教育・保育安全・安心確保事業	幼児教育・保育施設の感染対策を行うことで、安心・安全に活動を継続した。	R3.6～ R4.3	11,814,787	11,814,000	①感染防止対策改修・備品購入 市内公立認定こども園、幼稚園、保育園4園 11,815千円	①市内公立園に対して和便器の洋式化への改修による飛沫拡散防止や、お昼寝ベッド等の導入による昼寝の際の一定の隔離確保ができたことで、園内の感染拡大防止体制を整え、安心・安全に保育活動を継続させることができた。  【指標：整備後R3.6月～R4.3月 4園でのクラスター発生件数0件】	○	③	保育幼稚園課 0952-37-6109
9	WEB会議環境導入事業	市役所庁舎にWEB会議機器を導入することでWEB会議等のリモートワークを推進した。	R3.8～ R3.9	4,958,800	4,958,000	①WEB会議機器購入 1,796千円 ・大型液晶ディスプレイ購入 9台 ・WEB会議用小型スピーカーフォン 9台 ・短焦点型プロジェクター 2台 ②WEB会議用PC調達 11台 3163千円	①②コロナ禍においてWEB会議を行うことにより、外部者との接触リスク低減を図り、外部の人々との対面会議や訪問が減少し、感染リスクの低減を図った。  【指標：WEB会議の実施回数の増】 令和2年度 123回 ⇒ 令和3年度180回 (R4.1～3)	○	④	財政課 0952-37-6117 企画政策課 0952-37-6115

No.	事業名	事業内容	事業期間	総事業費(円)	内臨交金(円)	事業実績概要	事業効果	判定※1	分類※2	担当課
10	キャッシュレス決済プレミアムポイント付与事業	接触機会が減少するキャッシュレス社会の構築を推進するとともに、落ち込んだ消費の回復を図った。	R3.8～ R4.3	17,624,976	17,624,000	①キャッシュレス決済ポイント還元事業 ・第1弾 対象決済加盟店:251店舗／ポイント付与額:4,594千円 ・第2弾 対象決済加盟店:291店舗／ポイント付与額:9,429千円	①本事業の実施により、キャッシュレス決済が普及したことで、支払い時の接触を減らすことができ、新型コロナウイルス感染症防止に寄与することができた。  【指標：キャッシュレス決済対応店舗数の増 第1弾：251店舗 / 第2弾：291店舗 約16%の増】  ②市内の対象キャッシュレス決済を利用できる中小事業者でのキャッシュレス決済に、第1弾：10%、第2弾：15%のポイント還元を行ったことで、還元期間全体で1億円以上の資金が市内に流入した。  【指標：ポイント付与事業総決済額148,000千円】	○	②	商工観光課 0952-37-6129
11	タクシー観光実施助成事業	コロナ禍に伴う観光客減少により、売上げが減少したタクシー事業者を支援した。	R3.6～ R3.12	2,200,000	2,200,000	①観光ボランティアガイドが実施する講座の受講及び観光タクシーの商品開発に対する助成金 2社 22名 2,200千円	①タクシー事業者に観光ボランティアガイドが実施する講座の研修を通じて観光案内に関する知見を得てもらい、商品化を目指した観光ルートの基本案を作成し、観光協会と情報を共有した。R4年度のジャンボタクシーでの商品化につながった。  【指標：ガイド受講乗務員22名】	○	②	商工観光課 0952-37-6129

No.	事業名	事業内容	事業期間	総事業費(円)	内臨交金(円)	事業実績概要	事業効果	判定※1	分類※2	担当課
12	スマホなんでも相談事業	感染症に関して様々な支援策情報が出ているが、スマホ利用に関する相談窓口を設置し、高齢者等のデジタルリテラシーを向上させることで市民生活を支援した。	R3.8～R4.3	837,837	837,000	①スマホ相談窓口設置に関する経費 相談事業委託料 837千円 相談会実施回数21回 相談件数 120件	①デジタル化社会の中で、スマートフォン等の情報通信機器は欠かせないものとなっているが、コロナ禍での必要な情報を収集するため、スマートフォンの操作に不慣れな高齢者等に対し、対面での操作方法の指導を行うことにより、市が情報発信するアプリから自ら情報を受信するスキルを身につけることが可能となった。  【指標：小城市情報アプリインストール件数57件】	○	①	生涯学習課 0952-72-1616
13	観光拠点安全・安心確保事業	市内観光拠点施設の感染対策を行うことで、安心・安全に活動を継続させた。	R3.8～R3.11	2,730,200	2,730,000	①観光拠点の感染防止対策改修費 ・小城公園トイレ改修（手洗い自動水洗化、洋便器化）4箇所1,685千円 ・小城駅・牛津駅 トイレ改修 6箇所1,045千円	①市内観光拠点のトイレを洋式化(蓋付)によるウイルスの飛散を防止や、手洗い水栓をセンサー式の非接触型に改修することで、利用者の器具等への接触機会を減少させ、新型コロナウイルスの感染拡大防止及び衛生面の向上を図ることができた。  【指標：整備後（R3年10月～R4年3月）の改修した公園、駅でのクラスター発生報告件数0件】	○	②	商工観光課 0952-37-6129 都市計画課 0952-37-6121
14	生涯学習施設安全・安心確保事業	生涯学習施設の感染対策を行うことで、安心・安全に活動を継続させた。	R3.10～R4.3	15,084,047	15,082,000	①市内生涯学習施設の感染防止改修・感染対策備品拡充 ・トイレ改修（手洗い自動水栓化、洋便器化）8箇所13,221千円 ・感染対策備品（非接触体温計・自動アルコール噴霧器等）14箇所1,861千円	①市内生涯学習施設において、トイレの洋式化（蓋付）による飛沫飛散防止、洗面所の蛇口の自動水栓化による接触機会の低減、非接触体温計・自動アルコール噴霧器設置等による感染防止体制の強化を行い、市民の生涯学習施設利用を継続させることができた。  【指標：整備後（R3年10月～R4年3月）の生涯学習施設利用者のクラスター発生件数0件】	○	①	都市計画課 0952-37-6121 生涯学習課 0952-72-1616 文化課 0952-73-8809

No.	事業名	事業内容	事業期間	総事業費(円)	内臨交金(円)	事業実績概要	事業効果	判定※1	分類※2	担当課
15	保健福祉施設安心・安全確保事業	接触機会が減少するキャッシュレス決済や感染対策備品を導入することで、市内保健福祉施設での感染拡大防止を図った。	R3.11～R4.2	5,475,690	5,474,000	①保健福祉センターへのキャッシュレス決済対応券売機2台5,004千円 2施設 ②保健福祉センターへの感染対策備品等281千円 4施設 ③生きがいデイサービスセンターきららへの感染対策備品等 89千円 1施設 ④児童センターへの感染対策備品等101千円 1施設	①キャッシュレス決済対応券売機の導入で接触機会が減少した。 ②③④アルコール噴霧器付き温度計などの感染防止用備品を整備し、施設での感染予防を行うことができた。 上記により感染症拡大防止対策の環境整備を支援し感染拡大の抑制効果は発揮された。  【指標：整備後R3.12月～R4.3月施設での感染拡大による臨時休館件数0件】	○	①	健康増進課 0952-37-6106 高齢障がい支援課 0952-37-6108 社会福祉課 052-37-6107
16	感染対策認証店支援事業	市内の感染拡大防止対策を講じ、佐賀県の認証を受けた業者に対して支援を行い、市内の感染防止対策を推進させた。	R3.6～R4.3	5,300,000	5,300,000	①感染対策を講じた市内の認証店に対する支援 ・個人81店舗:4,050千円、法人25店舗1,250千円 計5,300千円	①市内の、感染拡大防止対策を講じ、佐賀県の認証を受けた業者に対して支援を行い、市内の感染防止対策を推進することで新型コロナウイルスの感染拡大防止に寄与することができた。  【指標：感染防止対策後の対象店舗でのクラスター発生報告件数0件】	○	②	商工観光課 0952-37-6129
17	公共施設公衆無線LAN整備事業	避難所としても利用している公共施設において、WEB会議等に参加できる体制を整えることで、市民活動の継続支援と、災害時の情報格差是正を行った。	R3.10～R3.11	223,594	223,000	①避難所としても利用している公共施設への無線LAN設備の整備 ・ホームルーター設置・使用料 7台 224千円	①避難所としても利用している公共施設で利用できる公衆無線LAN整備を整備することで、非接触による感染リスクを軽減しながら、会議等市民活動を継続することができた。  【指標：新規に無線LAN設備を整備した施設でのクラスター発生件数0件】	○	①	企画政策課 0952-37-6115

No.	事業名	事業内容	事業期間	総事業費(円)	内臨交金(円)	事業実績概要	事業効果	判定※1	分類※2	担当課
18	学校施設安全・安心確保事業	学校施設の感染対策を行うことで、安心・安全に活動を継続させた。	R3.8～ R4.3	72,430,600	72,430,000	①市内小中学校の感染防止対策改修費(自動水栓・トイレ洋式化・空調整備)11校 72,431千円	①新型コロナウイルス感染症対策として、職員・来客用トイレの洋式化及び手洗い場の自動水栓化や特別教室等に空調の整備を行うことで、校内での集団感染リスクを避け、児童生徒が安心して学ぶことができる体制が整備できた。  【指標：感染拡大による臨時休校の件数】 実績：0件(全国一斉休校を除く)	○	③	教育総務課 0952-37-6130
19	庁舎施設安全・安心確保事業	市役所施設等の感染対策を行うことで、安心・安全に活動を継続させた。	R3.11～ R3.11	355,040	354,000	①市役所庁舎・市民活動センターへの感染防止対策消耗品(飛沫防止衝立)整備35組 355千円	①市民活動センターの受付窓口及びミーティングスペースに、感染防止対策として飛沫防止透明衝立(大1枚・小2枚)を設置したことで、濃厚接触の機会が低減し、感染リスクの低減を図ることができた。  【指標：市役所庁舎・市民活動センターでのクラスター発生回数 0回】	○	④	財政課 0952-37-6117 企画政策課 0952-37-6115
20	生涯学習事業感染防止事業	生涯学習事業の感染対策を行うことで、安心・安全に活動を継続させた。	R3.12～ R4.1	671,000	671,000	①感染防止のための入場制限に伴う成人式の映像配信委託料671千円	①成人式を開催するにあたり、新型コロナウイルス感染症対策のため成人者及び一部の関係者以外の成人式会場への入場を制限したが、入場出来なかった新型コロナウイルスに感染した成人者、入場制限された保護者及び来賓者に対しオンライン動画配信を実施したことにより、感染リスクの低減を図った。  【指標：式典でのクラスター発生件数0件】	○	④	生涯学習課 0952-72-1616

No.	事業名	事業内容	事業期間	総事業費(円)	内臨交金(円)	事業実績概要	事業効果	判定※1	分類※2	担当課
21	農業収入保険加入促進事業	コロナ禍により農業収入が不安定になる中、農業収入保険の加入を促進させ、就農者の事業継続を支援した。	R3.9～ R4.3	10,340,000	10,340,000	①農業収入保険加入促進事業補助金 10,340千円 給付件数 154件	①コロナ禍により農業収入が不安定になる中、農業収入保険の加入を促進するため、保険料の一部を補助することで、就農者の事業継続に効果があった。  【指標：令和3年度中に廃業した農業者0件】	○	②	農林水産課 0952-37-6125
22	事業継続経営支援事業	コロナ禍により売上げが減少した業者で、特に家賃支出の負担が大きくなっている業者の事業継続を支援した。	R3.9～ R4.2	27,390,548	27,390,000	①事業継続経営支援給付金 27,390千円 ・個人 77店舗 20,492千円 ・法人:25店舗 6,898千円	①コロナ禍により売上げが減少した業者で、特に家賃支出の負担が大きくなっている業者の事業継続の支援を行なった結果、事業継続及びコロナ過での事業者の下支えに対し効果があった。  【指標：R3年9月～R4年2月の事業実施期間中に、この事業で補助を受けた業者のセーフティネットの申請件数0件】	○	②	商工観光課 0952-37-6129
23	教育支援体制整備事業	スクールサポートスタッフを配置し、感染症対策の強化を図ることで純増する教師の負担を軽減し、コロナ禍での子どもの学習環境を拡充させた。	R3.9～ R4.3	5,288,941	5,288,000	①市内公立校11校へのスクール・サポート・スタッフの配置 (11人) 5,289千円	①消毒作業などの感染症対策業務で増大した教員の負担を軽減することができ、安全な学校運営を行うことができた。  【指標：教職員の時間外在校等時間、目標：月平均45時間以内、実績：月平均41.1時間】	○	③	教育総務課 0952-37-6130

No.	事業名	事業内容	事業期間	総事業費(円)	内臨交金(円)	事業実績概要	事業効果	判定※1	分類※2	担当課
24	休日夜間子ども診療所事業継続支援事業	利用者の受診控えにより事業継続が難しくなっている休日夜間子ども診療所に対し、利用圏域の市町（佐賀市・多久市・神埼市・吉野ヶ里町・小城市）が連携して支援し、新型コロナウイルス感染症対応を含めた休日夜間の医療体制を確保した。	R4.1～ R4.3	5,400,811	5,400,000	①佐賀市の休日夜間子ども診療所支援事業への負担金 5,401千円	①令和3年度の患者数は令和2年度に引き続き令和元年度水準まで回復しなかった状況においても支援を行ったことで事業継続が出来た。  【指標：災害等他のやむを得ない場合を除き、令和3年度の休日夜間子ども診療所診療日数365日】	○	①	健康増進課 0952-37-6106
25	商工観光映像PR事業	コロナ禍により来店者数が減少している市内商工観光業にスポットを当て、映像コンテンツを作成・配信することで支援を行った。	R3.4～ R4.3	3,564,000	0	①PR映像作成・配信委託料3,564千円	①コロナ禍において疲弊した観光業の復興を目的に、市外の方々向けに小城市の魅力を発信し、小城市へ来ていただくことを意図して実施したが、市民にとっても小城市の魅力を再発見する機会になり、相乗効果が生まれた。  【指標：対前年比小城市観光客数12.7%増】	○	②	総務課 0952-37-6112
26	感染防止啓発事業	疫病に関する企画展示を行い、先人の防疫の努力を顕彰することでコロナ禍の中での感染防止意識の啓発を行った。	R3.4～ R4.3	380,000	0	①チラシ・パンフ作成148千円、講師謝金30千円、資料輸送委託料149千円、役員費53千円	①佐賀大学と連携しながら疫病に関する企画展示を行い、コロナ過の中での感染防止意識の啓発を行うことができた。 佐賀大学・小城市交流事業特別展「いのちを守る-疫病と小城-」 入館者：551名 講演会 演題：「疫病と小城」 参加者：25名 演題：「天然痘と闘う小城市の医師たち」 参加者：25名  【指標：メディア紹介5回、入館者数551人】	○	④	文化課 0952-71-1132

No.	事業名	事業内容	事業期間	総事業費 (円)	内臨交金 (円)	事業実績概要	事業効果	判定 ※1	分類 ※2	担当課
27	テレワーク推進事業	統合型GISシステム等のテレワークに対応するシステム導入・機能拡張により、感染拡大期でも行政サービスを維持できるよう在宅勤務等のリモートワークを推進した。	R4.3～ R5.3	27,412,000	27,412,000	①統合型GIS整備業務：21,472千円 ②庶務事務・電子決裁システム導入業務：5,940千円	①統合型GISの整備、②庶務事務・電子決裁システムの整備を実施した。R2年から継続してテレワーク環境を整備したことで、感染拡大期においても、職員がテレワークを活用し業務継続性を確保することができた。 R3～R4のテレワーク利用者数は51人（一般行政職職員数：364人←R4.4.1時点の人数）  【指標：一般行政職の内、テレワークを行ったことのある職員の率10%】	○	④	総務課 0952-37-6112
28	防災活動支援事業	避難所の衛生環境を保つため、消毒薬等の資材を避難所に備蓄した。	R4.2～ R5.1	5,463,700	5,024,000	①避難所への感染防止パーテーション等の備品整備 避難所 5箇所分 5,464千円	①避難所運営について、感染防止パーテーション等の避難者が滞在する避難所の感染防止体制を確保することが出来た。  【指標：感染症対策備品・消耗品を対策本部と拠点避難所4箇所に整備】	○	④	防災対策課 0952-37-6119
29	市民活動センター支援事業	ウェブ会議等が可能な機器等を整備し、コロナ禍の市民活動団体の活動継続を支援した。	R4.1～ R4.3	597,740	597,000	①WEB会議用PC調達 4台 598千円	①ウェブ会議等が可能な機器等を整備することで、コロナ禍の市民活動団体の活動継続を支援することができた。  【指標：市民団体リモート会議・相談・研修等年42回開催】	○	④	企画政策課 0952-37-6115

No.	事業名	事業内容	事業期間	総事業費(円)	内臨交金(円)	事業実績概要	事業効果	判定※1	分類※2	担当課
30	生涯学習事業感染防止事業	生涯学習事業の感染対策を行うことで、安心・安全に活動を継続させた。	R4.1～ R5.3	3,442,440	3,442,000	①生涯学習施設空調整備 2,475千円 (小城文化センター) ②文化講座動画配信環境整備(ネットワーク整備、ディスプレイ・配信用PC等整備) 967千円	①空調を整備することで、災害時のコロナ罹患関係者避難所として安全に開設することができた(6日間) ②講座のインターネット配信を行うなど、講座での過密状態を避け、感染防止対策を行い、活動を継続させることができた。(5番組 視聴者数611回)  【指標：動画配信体制整備一式、空調整備1箇所】	○	④	文化課 0952-71-1132
31	幼児教育・保育安全・安心確保事業	幼児教育・保育施設の感染対策を行うことで、安心・安全に活動を継続させた。	R4.2～ R4.3	1,067,000	1,067,000	①市内保育園空調整備 1園1,067千円	①市内公立認定こども園の遊戯室の空調を整備し感染拡大防止体制を整えた結果、園内での活動を狭めることなく安心・安全に保育活動を継続させることができた。  【指標：整備後R3.6月～R4.3月 1園でのクラスター発生件数0件】	○	③	保育幼稚園課 0952-37-6109
32	小売店舗等復興応援券事業	小売店舗等復興応援券を発行し、地域経済の復興を後押しした。	R4.2～ R5.1	143,569,358	143,568,000	①第3弾応援券(3000円) 印刷製本費(500円×6枚×45,000冊印刷、17,011世帯封入)5,559千円 郵送料 4,463千円 換金・振込手数料 133,547千円	①第3弾応援券260,327枚の復興応援券が小城市民に使用され、小城市内登録小売店舗に対し、130,164千円を原資とした経済波及効果を生み出した結果、セーフティネットの申請企業が減少し、コロナ過の中で中小の小売店舗の販売に対する下支えに効果があった。  【指標：応援券利用97.19%、2月～3月の事業実施期間中セーフティネットの申請件数0件】	○	②	商工観光課 0952-37-6129

No.	事業名	事業内容	事業 期間	総事業費 (円)	内臨交金 (円)	事業実績概要	事業効果	判定 ※1	分類 ※2	担当課
33	学校施設安全・安心確保事業	学校施設の感染対策を行うことで、安心・安全に活動を継続させた。	R4.4～ R4.6	1,525,700	1,525,000	①市内公立中学校への空調整備 1か所 1,526千円	①室温の保持かつ換気循環により教室内の環境を改善するため、特別支援教室に空調の整備を行うことで、校内での集団感染リスクを避け、児童生徒が安心して学ぶことができる体制が整備できた。  【指標：感染拡大による臨時休校の件数】 実績：0件（全国一斉休校を除く）	○	③	教育総務課 0952-37-6130
合計				473,240,748	468,839,000					

※1 判定：「○」効果あり 「×」効果認められず

※2 分類：①市民生活への支援・市民サービスの向上 ②経済対策・事業者支援 ③子どもの安全と教育の保障 ④感染防止対策